

2004.7.16

(第3種郵便物認可)

第42368号

「殺したい、殺した
たい。」と、首を絞めて
きたのは、小学校低学
年の女の子です。一緒
に死んでくれるかと
尋ねてきたのは小学
入学前の幼児でした。
彼らは、日常生活の
中では、そ
んな素振り
をくびに
も出さず、元気に明る
く振る舞っています。
この子どもたちは、ひ
どい虐待を受けている
と思われるかもしれま
せんが、実は、本人は
親から虐待されている
とは思っていません。我
が子を虐待しているとは
考えたことがありませ
ん。食事を与えなかつ
たり、殴ったり、怒鳴
っていたりということをし
ていないわけではないか
らです。

日本子どもソーシャルワーク協会理事長 寺出壽美子



寺出壽美子 1947年生まれ、慶義
塾大学文学部卒、NPO
法人日本子どもソ
シアルワーク協会理事
長、児童虐待防止
施設長、東邦大学薬
理学講師、虐待に
関する著書「い
じめ、いじめに
対する」など

虐待児童の自覚のない 信頼関係と欲求受容

これは、毎日の生活の中
で親の笑顔が見たいの
で親の期待に応える
ための努力を惜しま
せん。子どもが親の期
待に応えられている間
は、表面上は良好な親
子関係が持続します。
が、強いられたい無理
な状態はいつか破綻(は
たん)を来します。

限界が来た子どもが
表示行動は一人ひとり
さまざまです。不登校
やいじめ、家庭内暴力、
恐喝・窃盗・傷害のよ
うな少年事件、自傷行
為・摂食障害・性の逸
脱行為・買い物・薬物
・ギャンブルの嗜癖
的欲求を繰り返して親
(しへき)行動などで
す。それらの行為は、
まわりから子どもが自
身に原因があり、子ど
もが問題であると見え
てしまいます。子ども
自身です、自分が抱
かっていた、よって初
期は不安感、孤立して
感・生き難さがどうし
て生じているのか、ど
うして自分がこのよ
うな行為に走ってしまった
のか、理解できなしか
く、無理難題を押し
つけている。子どもは
求むる。親の拒否は
拒否する。子どもは

多くの親が自覚しな
いうちに、あなたのた
めを思って、例え
ば習い事・塾、お受験
を強いたり、親が
子どもを頼るために、
子どもが親の役割を担
わざるを得ない逆転し
た親子関係の中にお
かれたり、親が柔軟性
のない硬直したもので考
え方しかできなかったり
するのを、子どもは
子ども自身に自覚はあ
りませんが、子ども時

溜(た)め込まれた怒
りの衝動から首を絞め
たり、粗暴な行為を繰
り返したりするよう
になっていきます。
このような自には見
えにくい広い意味での
虐待が、実は、日本の
子どもたちの中に激増
しています。子どもは
虐待を受けた子ども

寄稿

このように自には見
えにくい広い意味での
虐待が、実は、日本の
子どもたちの中に激増
しています。子どもは
虐待を受けた子ども